

平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

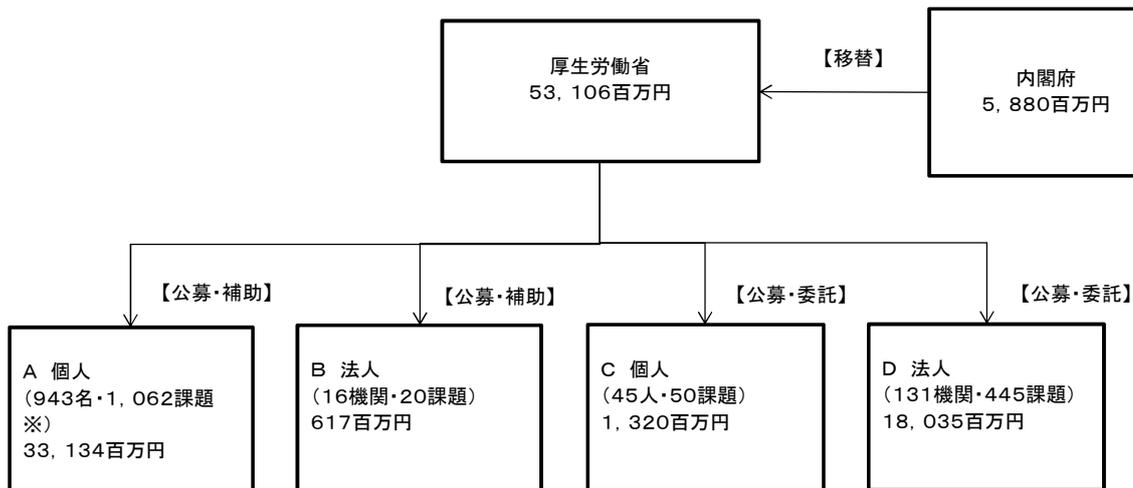
事業名	厚生労働科学研究費補助金（医療研究開発推進事業費補助金を含む）			担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始年度	昭和26年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	厚生科学課		椎葉 茂樹		
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-2-1 厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進を図ること				
根拠法令（具体的な条項も記載）	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働科学研究費補助金取扱規程（平成10年4月9日厚生省告示第130号） 厚生労働科学研究委託費委託契約事務処理要領 健康・医療戦略推進法（平成26年5月30日法律第48号） 独立行政法人日本医療研究開発機構法（平成26年5月30日法律第49号） 			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> 「第4期科学技術基本計画」（平成23年8月19日閣議決定） 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」（平成20年10月31日内閣総理大臣決定） 「日本再興戦略改訂2014」（平成26年6月24日閣議決定） 「科学技術イノベーション総合戦略」（平成26年6月24日閣議決定） 「健康・医療戦略」（平成26年7月22日閣議決定） 「医療分野研究開発推進計画」（平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定） 				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ること及び健康・医療戦略を推進し、もって健康長寿社会の形成に資することを目的とする。								
事業概要（5行程度以内。別添可）	<p>①厚生労働科学研究費補助金：厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行うもの。（定額補助）</p> <p>②厚生労働科学研究委託費：厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究のうち、医療分野の研究開発分野の研究課題について実施するため、国内の試験研究機関や大学等に対して、本来国が行うべき研究の委託を行うもの。（平成26年度開始・事業終了）</p> <p>③医療研究開発推進事業費補助金：国立研究開発法人日本医療研究開発機構が医療分野研究開発推進計画に基づき、大学、研究開発法人その他の研究機関の能力を活用して行う医療分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備の助成等に要する費用に係る補助を行うもの。（定額補助・平成27年度事業開始）</p>								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・執行額（単位：百万円）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	44,036	44,036	48,051	54,542	67,960		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	679	143	138	22	-		
		翌年度へ繰越し	▲143	▲138	▲22	-	-		
		予備費等	-	-	5,880	-	-		
		計	44,572	44,041	54,047	54,564	67,960		
		執行額	44,445	43,917	53,106				
	執行率（%）	100%	100%	98%					
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	厚生労働科学分野における研究開発成果をより多く国民、社会へ還元すること。 ※研究成果の活用状況はさまざまであるが、そのひとつの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	研究成果の活用状況 厚生労働科学研究データベース（閲覧システム）へのアクセス件数（前年同以上）	成果実績	件	287,878	365,168	344,096		
			目標値	件	330,728	287,878	365,168	344,096	
			達成度	%	87%	126.8%	94.2%		
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	採択件数 ※研究課題については、研究分野によって1課題当たりの規模・補助額が異なり、また、専門家の評価により変動しうるものであるため、採択件数を予め見込むことは困難。	活動実績	件	1,480	1,441	1,574			
		当初見込み	件	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	年度終了課題の研究開発成果（学術的な成果） （1課題あたり原著論文件数（和文・英文等合計）） ※平成27年6月10日現在の値 ※復興特会による研究課題を含む。 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数を予め見込むことは困難。	活動実績	件	111.4	115.3	18.5			
		当初見込み	件	-	-	-	-		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		件	49.7	65.9	6.7		
		年度終了課題の研究開発成果(学術的な成果) (1課題あたりその他の論文件数(和文・英文等合計)) ※平成27年6月10日現在 ※復興特会による研究課題を含む。 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数を予め見込むことは困難。							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動実績		件	49.7	65.9	6.7		
		当初見込み		件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		件	180.4	178.8	31.3		
		年度終了課題の研究開発成果(学術的な成果) (1課題あたり学会発表件数(国内・国際学会合計)) ※平成27年6月10日現在 ※復興特会による研究課題を含む。 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数を予め見込むことは困難。							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動実績		件	180.4	178.8	31.3		
		当初見込み		件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		件	605	432	258		
		年度終了課題の研究開発成果(行政課題の解決に資する成果) (施策への反映件数(法律等作成につながった等の件数)) ※平成27年6月10日現在 ※復興特会による研究課題を含む。 ※研究課題によっては行政課題の解決のみが目的でないものも含まれるため、件数を予め見込むことは困難。							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動実績		件	605	432	258		
		当初見込み		件	-	-	-	-	
単位当たり コスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
		X:「執行額」/Y:「採択件数」		単位当たり コスト	千円	30,030	30,477	33,740	-
				計算式	X / Y	44,445百万円/1480	43,917百万円/1441	53,106百万円/1574	-

平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	厚生労働科学研究費補助金		7,184	8,031	
医療研究開発推進事業費補助金		47,358	59,929		
	計		54,542	67,960	

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価		評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	少子高齢化の進展、疾病構造の変化、国民を取り巻く社会環境の変化、国民のニーズの多様化・高度化及び世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国における健康長寿社会の形成などに的確に対応した厚生労働行政が広く国民より求められている。 それらのニーズに対応するためには、産官学の各分野が協力して新しい知見を生み出し、適切妥当な科学的根拠に立脚した行政施策の実施、基礎から実用化までの一貫した研究開発を推進する必要があるため、これらの施策を達成するには国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	「第4期科学技術基本計画」、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「医療分野研究開発推進計画」等に基づく事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	研究事業毎に成果目標は異なるが、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者及び医療分野に係る基礎から実用までの一貫した研究開発を推進する日本医療研究開発機構に対して、当該研究課題を達成するために必要な経費の補助を行っているため、政策目的の必要かつ適切な達成手段と位置づけられる。また、厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、優先度が高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	研究事業ごとに評価委員会を設置し、各研究課題の評価を行うことにより採択課題を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	申請のあった研究計画に対して評価を行った上で必要な経費を交付する、という研究費の性質に鑑みるに受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	研究課題毎に必要な研究費の額は異なるため一概には比較できないが、概ね研究計画にそって事業を実施できているため妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	「競争的資金における使用ルール等の統一について」(平成27年3月31日競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)等に基づき、研究者及び研究機関が研究資金を効果的・効率的に活用できるよう、所要の見直しを行うなど工夫を順次行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は概ね目標どおりとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	厚生労働科学研究による成果は、論文等により社会に発信され、厚生労働科学研究データベース等での公表により研究者・研究機関及び国民に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた研究開発等推進のため、戦略的イノベーション創造プログラムにおいて内閣府に計上される調整費は、「医療分野の研究開発関連の調整費に関する配分方針」(平成26年6月10日健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、健康・医療戦略推進本部決定により現場の状況・ニーズに対応した予算配分及び推進本部による機動的な予算配分がなされるもので、厚生労働科学研究費補助金とは性質を異にするもので、適切な役割分担となっている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	-	戦略的イノベーション創造プログラム(健康・医療分野)		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度において、成果目標に対する成果実績も達成され、執行率はほぼ100%であり、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図ったところである。			
	改善の方向性	引き続き、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図る必要がある。 なお、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画の実施のために必要な各省に計上されている医療分野の研究開発予算を集約化し、戦略的・重点的な予算配分を行うこととし、平成27年度より日本医療研究開発事業費補助金を計上している。 今後は健康危機管理分野、食品衛生分野、化学物質安全対策分野、労働安全衛生分野等などの研究(厚生労働科学研究費補助金)と医薬品・医療機器、その他の医療技術の実用化に資する研究(医療研究開発事業費補助金)を「車の両輪」となして進め、特に個別疾病対策など国民のニーズの高い課題に対応していく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
通現り状	健康長寿社会の形成や厚生労働行政施策の科学的な推進を確保するために必要な事業であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	569	平成23年度	518	平成24年度	458
平成25年度	906	平成26年度	905		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.研究者A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	設備備品費、消耗品費	354			
人件費・謝金	人件費、謝金	29			
旅費	外国旅費	2			
その他	委託費、印刷製本費等	209			
間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	105			
計		699	計		0
B.公益社団法人日本医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	試薬、事務用品等	162.2			
人件費	研究協力者への各種手当て等	148.6			
旅費	国内旅費及び外国旅費	54.7			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	844.7			
間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	170			
計		1,380.3	計		0
C.研究者A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	設備備品費、試薬等	163			
その他	外注費、印刷製本費、通信運搬費等	8			
旅費	国内旅費及び外国旅費	18			
謝金	研究協力者への謝金	75			
計		264	計		0
D.独立行政法人国立がん研究センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	設備備品費、消耗品費等	1,019			
人件費・謝金	人件費、謝金	245			
旅費	旅費	176			
その他	外注費(雑役務費)、印刷製本費等	586			
間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	548			
計		2,574	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研究者A	プリオン病に対する低分子シヤペロン治療薬の開発	699	—	—
2	研究者B		634	—	—
3		肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発	504	—	—
4		遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の薬物動態の検討及び第2/3相試験	101	—	—
5		希少難治性筋疾患に関する調査研究	29	—	—
6	研究者C	ヒトiPS分化細胞を利用した医薬品のヒト特異的有害反応評価系の開発・標準化	475	—	—
7	研究者D		382	—	—
8		B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	311	—	—
9		多剤耐性HIV変異株に強力で高い中枢神経系透過性を有する新規抗HIV薬の開発	71	—	—
10	研究者E	希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究	354	—	—
11	研究者F	HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発	326	—	—
12	研究者G		313	—	—
13		アジュバント安全性評価データベースの構築研究	310	—	—
14		次世代型ワクチンの実用化に向けた検討及び品質管理に関する基準の在り方に関する研究	3	—	—
15	研究者H		294	—	—
16		多発性硬化症の新規免疫修飾薬を検証する医師主導治験	242	—	—
17		ドラッグ・リポジショニングによる視神経脊髄炎(NMO)の治療薬開発に関する研究	52	—	—
18	研究者I	滲出型加齢黄斑変性に対する自家iPS細胞由来網膜色素上皮シート移植に関する臨床研究	286	—	—
19	研究者J		285	—	—
20		B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究	230	—	—
21		肝炎ウイルスの複製増殖および病原性発現機構と薬剤感受性の解析	55	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人日本医師会	医師主導治験の実施支援並びに我が国の治験推進に関する研究	1,380	—	—
2	公益財団法人エイズ予防財団		190	—	—
3		エイズ対策研究推進事業(エイズ対策政策研究推進事業)	160	—	—
4		エイズ対策研究推進事業(エイズ対策実用化研究推進事業)	30	—	—
5	国立大学法人 大阪大学	自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる保健指導プログラムの効果検証に関する研究	104	—	—
6	公益社団法人 国際厚生事業団	新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究推進事業	82	—	—
7	公益財団法人難病医学研究財団	難治性疾患等克服研究(難治性疾患等実用化研究)推進事業	50	—	—
8	公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団	肝炎等克服実用化研究推進事業	45	—	—
9	公益財団法人 精神・神経科学振興財団	障害者対策総合研究推進事業(障害者対策総合研究事業(精神障害分野、神経・筋疾患分野))	28	—	—
10	公益財団法人 長寿科学振興財団		25	—	—
11		認知症対策総合研究推進事業	13	—	—
12		長寿科学総合研究推進事業	12	—	—
13	公益財団法人 日本対がん協会	がん政策研究推進事業	21	—	—
14	公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	厚生労働科学特別研究推進事業	19	—	—

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研究者A		264	—	—
2		海外研究機関等との感染症に関する共同研究および連携強化に関する研究	164	10(企画)	100%
3		アジアの感染症担当研究機関とのラボラトリーネットワークの促進と共同研究体制の強化に関する研究	100	2(企画)	100%

4	研究者B		93	—	—
5		医薬品等の品質・安全性確保のための評価法の戦略的開発	65	3(企画)	100%
6		高機能性薬物キャリアを利用した医薬品の品質確保に関する研究	28	2(企画)	100%
7	研究者C		67	—	—
8		新興・再興感染症に対する画期的な新規ワクチン開発および実用化に関する研究	50	11(企画)	100%
9		非結核性抗酸菌症の疫学・診断・治療に関する研究	17	5(企画)	100%
10	研究者D	HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究	55	1(企画)	100%
11	研究者E	支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究	50	1(企画)	100%
12	研究者F	電子たばこにおける成分分析の手法の開発に関する研究	48	1(企画)	100%
13	研究者G		43	—	—
14		医薬品・医療機器の実用化促進のための評価技術手法の戦略的開発	35	3(企画)	100%
15		市販後における重篤副作用(間質性肺炎、横紋筋融解症、重症薬疹等)の発症要因解明と安全対策に関する研究	8	3(企画)	100%
16	研究者H	次世代抗体医薬品等の品質・安全性評価法の開発	40	1(企画)	100%
17	研究者I	原発性免疫不全症候群の病態解明と新規治療法開発への応用に関する研究	40	1(企画)	100%
18	研究者J	「顧みられない動物由来感染症」の対策及び検査法・治療法の確立に関する研究	40	4(企画)	100%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立がん研究センター		2,574	—	—
2		難治急性リンパ性白血病に対するボルテゾミブ追加多剤併用療法の国内導入(医師主導治験)	200	6(企画)	100%
3		国際連携を基盤とした日本人難治固形がんゲノム統合解析による新たな治療標的の同定と予防戦略への展開研究	150	3(企画)	100%
4	国立大学法人大阪大学		1,159	—	—
5		成人T細胞性白血病/リンパ腫(ATLL)に対するNY-ESO-1+AS15ASCIのモガムリズマブ併用での安全性と有効性探索のための医師主導治験(第I/II相)	200	15(企画)	100%
6		化学療法に対する抵抗性を克服することを目的とした希少がん(悪性胸膜中皮腫)治療薬開発のための医師主導治験の実施	199	10(企画)	100%
7	国立大学法人東京大学		1,029	—	—
8		PRDM14を標的とする革新的核酸治療による難治性がん克服のための実用化に関する臨床研究	199	15(企画)	100%
9		神経疾患の集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	150	1(企画)	100%
10	国立大学法人京都大学		965	—	—
11		集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築	154	1(企画)	100%
12		血中PD-1リガンド検出エライザー法によるPD-1抗体がん治療の有効性診断薬開発	60	26(企画)	100%
13	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター		635	—	—
14		遺伝性ミオパチーの次世代型統合的診断拠点形成	165	1(企画)	100%
15		危険ドラッグを中心とした中枢神経系に作用する物質の迅速検出方法の開発に関する研究	150	4(企画)	100%
16	学校法人慶應義塾		605	—	—
17		子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究	150	4(企画)	100%
18		神経難病治療薬OCH-NCNPの炎症性腸疾患を対象とした医師主導治験へ向けた製剤確保、治験プロトコル作成、治験相談の実施	130	2(企画)	100%
19	国立大学法人九州大学		567	—	—
20		高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の探索的臨床研究	60	11(企画)	100%
21		新しいコンセプトに基づく掻痒抑制物質探索のための新規アトピー性皮膚炎モデルの開発とその応用	60	52(企画)	100%
22	国立大学法人東北大学		543	—	—
23		乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究	149	4(企画)	100%
24		新規作用機序の多発性硬化症治療薬の開発	100	1(企画)	100%
25	国立大学法人名古屋大学		525	—	—
26		孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	80	1(企画)	100%
27		ドラッグ・リポジショニングによる軟骨無形成症治療薬の開発研究	65	15(企画)	100%
28	聖路加国際大学		457	—	—
29		エボラ出血熱に対する治療薬、診断薬の開発に関する研究	350	随意契約	—
30		がん治療による神経系合併症(認知機能障害と痛み)の緩和に関する研究	49	18(企画)	100%